様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	岩手県立大学盛岡短期大学部
設置者名	公立大学法人岩手県立大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
盛岡短期大学部	生活科学科 生活デザイン専攻		1	4	17	22	7	
	生活科学科 食物栄養学専攻				29	34	7	
	国際文化学科				12	13	7	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/syllabus.html

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	岩手県立大学盛岡短期大学部
設置者名	公立大学法人岩手県立大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/staff.html

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	地方公共団体特別職	2021.4.1～2025.3.31	法人運営・地域貢献
常勤	大学共同利用機関法人役員	2023.4.1～2027.3.31	大学運営・教育研究
常勤	地方公共団体職員	2024.4.1～2026.3.31	法人運営・地域貢献
非常勤	株式会社常勤監査役	2023.4.1～2027.3.31	大学運営（県民意識・社会情勢・男女共同参画）
非常勤	商工会議所役員	2024.4.1～2028.3.31	大学運営（県内経済状況）
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手県立大学盛岡短期大学部
設置者名	公立大学法人岩手県立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） シラバス作成要領を定めており、シラバス作成要領に基づき、開講される授業科目ごとに、授業担当教員がシラバスを作成している。シラバス作成要領とは、シラバスの構成、作成手順、作業内容及びスケジュール、シラバスの各項目の記載方法等を定めたものである。 授業担当教員がシラバスを作成した後は、学部等教務委員会がシラバスの内容確認を行っている。 シラバスは授業開講の前年度の１月から作成し、３月中旬頃に公開している。	
授業計画書の公表方法	大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/syllabus.html
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 授業科目ごとのシラバスに下記事項を記載している。シラバスに、学修目標、成績評価の方法を明記しており、これに基づき各授業科目の単位授与を行っている。 ①講義科目名称、②講義科目英文名称、③開講期間、④配当年、⑤単位数、⑥科目必選、⑦担当教員名称、⑧所属、⑨正課学生以外の受講、⑩教育課程、⑪授業形態、⑫資格対応、⑬授業のねらい・概要、⑭キーワード《５つまで》、⑮学修目標、⑯授業の位置付け、⑰授業の計画、⑱教科書【学生が必ず準備するもの】、⑲参考書等、⑳授業の形式、㉑成績評価の方法、㉒授業前・授業後の学修、㉓履修にあたっての留意点、㉔実務経験を生かした授業内容、㉕備考 試験・単位認定・成績評価に関する Web ページアドレス https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/test.html	
３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） ＧＰＡ制度を導入しており、「岩手県立大学グレードポイントアベレージ制度運用規程」において、ＧＰの付与、ＧＰＡの種類及び計算式、ＧＰＡ対象科目、ＧＰＡの通知について定めている。 ＧＰＡの算出方法は下記のとおりである。 ①　当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としてのＧＰＡ（学期ＧＰＡ） **(当該学期に評価を受けたＧＰＡ対象科目で得たＧＰ×当該科目の単位数)の合計** **当該学期に評価を受けたＧＰＡ対象科目の単位数の合計**	

② 在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としてのＧＰＡ（通算ＧＰＡ）

（在学中に評価を受けた全ＧＰＡ対象科目で得たＧＰ×当該科目の単位数）の合計
在学中に評価を受けた全ＧＰＡ対象科目の単位数の合計

上記算出方法により、各学期の成績評価に基づきＧＰＡを算出しており、学生は、各学期の成績通知日以降に、学内情報システムにおいて自分自身の学期ＧＰＡと通算ＧＰＡを確認することが可能である。

客観的な指標の算出方法の公表方法	大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/test.html

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

▼目指す人材像

岩手県立大学盛岡短期大学部では、幅広い教養と専門的な知識を有し、地域社会･国際社会の発展に寄与できる人材を輩出することを目指します。
生活科学科においては、人間生活の「衣」「食」「住」に関する専門知識と技能を有し、地域社会に貢献できる能力を身につけた人材の育成を目指します。

生活科学科生活デザイン専攻においては、住居と衣服を中心とした生活に関わるデザインについての専門知識と技能を有し、それらを柔軟かつ創造的に活用できる人材の育成を目指します。

生活科学科食物栄養学専攻においては、食に関する科学的知識と技能を身につけ、食生活をより良い方向へ支援する実践能力を兼ね備えた、専門職（栄養士）として社会に貢献できる人材の育成を目指します。

国際文化学科においては、世界の多様な文化や社会、交流の歴史を理解し、豊かで実践的なコミュニケーション能力と国際感覚とを併せもち、地域社会の発展や国際化に貢献できる人材の育成を目指します。

そして、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ、単位を修得した学生を、次に掲げる「学生が卒業までに身につけるべき能力」を備えた者とし、生活科学科にあっては学位「短期大学士（生活科学）」、国際文化学科にあっては学位「短期大学士（国際文化）」を授与します。

▼学生が卒業までに身につけるべき能力

＜生活科学科＞

【生活科学科生活デザイン専攻】

DP1: 幅広い教養と豊かな感性を備え、主体的に行動できる。（幅広い教養）
DP2: 住居と衣服を中心とした生活に関わるデザインを多様な視点から見つめ、豊かな生活を自らつくり出すことができる。（専門知識）
DP3: 二級建築士受験資格を取得して卒業する者においては、二級建築士取得のための基本的な知識と技能が身についている。（専門知識）
DP4: 課題解決のための能力や実践力を身につけ、生活に関わる幅広い分野において、地域社会に貢献できる。（課題発見・解決能力）

<table>
<tr><td colspan="2">【生活科学科食物栄養学専攻】
DP1: 幅広い教養と豊かな感性を備え、主体的に行動できる。(幅広い教養)
DP2: 食に関する知識を修得し、それを日常の生活において生かしていくことができる。(専門知識)
DP3: 栄養士として必要な専門知識や技能を身につけ、専門職として活躍できる。(専門知識)
DP4: 課題解決のための能力や実践力を身につけ、食に関する分野において、地域社会に貢献できる。(課題発見・解決能力)

＜国際文化学科＞
DP1: 幅広い教養と豊かな感性を備え、主体的に行動できる。(幅広い教養)
DP2: 西洋・アジア・日本の文化や社会及び交流の歴史を幅広く理解することを通して、国際感覚が身についている。(専門知識)
DP3: 自らが生活する地域社会とそこにみられる様々な文化を深く理解し、地域の文化の振興、国際化に積極的に貢献できる。(社会への関心)
DP4: 豊かで実践的なコミュニケーション能力を身につけ、主体的に考え発言できる。(コミュニケーション能力)</td></tr>
<tr><td>卒業の認定に関する
方針の公表方法</td><td>大学 Web サイト
https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/dc-policy-top.html</td></tr>
</table>

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	岩手県立大学盛岡短期大学部
設置者名	公立大学法人岩手県立大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/zaimu.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	－
事業報告書	大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/zaimu.html
監事による監査報告（書）	同上

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：第四期中期計画　　対象年度：令和５年度～令和 10 年度）
公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/evaluation.html

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/evaluation.html

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/accreditation.html

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　盛岡短期大学部
教育研究上の目的（公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/purpose.html）
（概要） 【生活科学科】 人間生活の「衣」「食」「住」に関する高度な技術と見識を持ち、さまざまな社会問題を解決して、かつ地域に対する貢献をなしうる能力を持った人材の育成を目的とする。 【国際文化学科】 西洋・アジア及び日本の多様な文化や交流の歴史を理解し、これを尊重する豊かな人間性と国際感覚を身につけ、また、異なる文化圏に生きる他者と正しくコミュニケーションできる能力を涵養することを通し、地域文化の振興及び国際化に貢献できる人材の育成を目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/dc-policy-top.html）
（概要） （様式第２号の３に記載のとおり。）
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/dc-policy-top.html）
（概要） 岩手県立大学盛岡短期大学部では、卒業認定・学位授与の方針に掲げた能力の育成のため、基盤となる科目（「共通科目」、「基盤科目」）と専門となる科目（「基礎専門科目」、「専門科目」）を中心としたカリキュラムを編成・実施し、学生が主体的・能動的に学ぶことができるよう、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。 【生活科学科】 生活科学科では、専攻共通の基盤となる科目、専攻別の専門となる科目からカリキュラムを構成しています。 専攻共通の基盤となる科目である「共通科目」は、本学科での学習活動や社会生活において不可欠な知識・技能や、幅広く豊かな教養に基づく総合的な判断力を育成することを目的とし、以下のような科目群を開講します。 CP1: 本学科での学習活動において不可欠な知識・技能を育成するために、共通科目に「基礎科目」を開講します。（DP1） CP2: 社会生活を送る上で必要である幅広い教養と豊かな感性を身につけるため、共通科目に「教養科目」を開講します。（DP1） CP3: グローバル化時代に必要な広い視野、異なる文化を持つ人たちと共に生きていく能力を育成するため、共通科目に「外国語関係科目」を開講します。（DP1） ＜生活科学科生活デザイン専攻＞ 生活科学科生活デザイン専攻の専門となる科目は、住居と衣服を中心とした生活に関わるデザインについての専門知識と技能を多面的かつ体系的に学ぶことができるよう、「基礎専門科目」と「専門科目」で構成されています。 CP4: 生活に関わるデザインを学ぶ上で基礎となる知識と技能を修得するため、「基礎専門

科目」を開講します。専門科目の内容を理解するために必要な知識や考え方について幅広く学びます。（DP1、DP2、DP3）

CP5: 生活に関わるデザインを実践する上で必要となる専門的な知識と技能を修得するため、「専門科目」を開講します。

住居のデザイン、衣服のデザインを多様な視点からとらえて思考できるようにするため、それぞれの分野についての専門的な知識を横断的に学びます。また、豊かな感性を身につけ、それを生かしたアイディアを表現するために必要な技能の修得を目指します。（DP2、DP3）

さらに、少人数・学生主体で行われる「卒業研究」では、教員の専門研究領域に応じたテーマの研究を通して、課題発見・解決能力や実践力などを育成します。（DP4）

なお、所定の科目の単位を修得することにより、二級建築士の受験資格を取得できる内容となっています。

＜生活科学科食物栄養学専攻＞

生活科学科食物栄養学専攻の専門となる科目は、栄養や食に関する専門知識と技能を修得することを目的として、「基礎専門科目」と「専門科目」で構成されています。

CP4: 現代人の食生活や環境、生命と健康について学ぶため、「基礎専門科目」を開講します。専門科目を履修するために必要な知識や考え方について学びます。（DP2、DP3）

CP5: 栄養士に必要な知識や技能を修得するため、「専門科目」を開講します。身体の構造や機能、食品の化学的性質、栄養学の基礎や応用、栄養教育、集団給食の管理・運営などの講義や実験・実習を通して、栄養士として人々の食生活を支える知識と技能を修得し、科学的思考に基づく実践力の育成を目指します。

少人数・学生主体で行われる「卒業研究」では、教員の専門研究領域に応じたテーマの研究を通して、課題発見・解決能力や実践力などを育成します。（DP2、DP3、DP4）

【国際文化学科】

国際文化学科では、基盤となる科目（「基盤科目」）、専門となる科目（「基礎専門科目」、「専門科目」及び「実践科目」）からカリキュラムを構成しています。

国際文化学科の基盤となる科目は、「教養科目」と「キャリアデザイン科目」で構成されています。専門科目の学習に必要な基礎的な知識を身につけるとともに、社会生活を営む上で不可欠な知識や判断力などを培います。

CP1: 「教養科目」では、人間への理解、社会への理解などを通して、実り豊かな人生を創造していくために欠かすことのできない幅広い教養と豊かな感性を身につけます。また、専門科目での文化理解に必要とされる基礎的な視点を養います。（DP1、DP2、DP3）

CP2: 「キャリアデザイン科目」では、自己についての理解を深め、人生観・職業観を確立することをねらいとし、自らの人生設計を考える科目を開講します。（DP3、DP4）

国際文化学科の専門となる科目は、実践的なコミュニケーション能力を身につけるとともに、世界の多様な文化や社会、交流の歴史を理解するために、「基礎専門科目」、「専門科目」及び「実践科目」から構成されています。

CP3: 「基礎専門科目」では、専門科目の履修に備え、現代を取り巻く文化や社会を理解するとともに、プレゼンテーション、言葉による表現能力といったコミュニケーションスキルの向上を目指します。（DP2、DP4）

CP4: 「専門科目」では、「西洋」「アジア」「日本」それぞれの文化、思想、社会、歴史について、比較の視点も取り入れながら学びます。今日の社会にあっては一つの学問分野・フィールドのみで解決できる問題がないことを理解するとともに、三つの地域を中心とした多角的な学習への取り組みを重視します。

履修の集大成として「卒業研究」を作成します。「卒業研究」は、各自が提出したテーマに基づいてそれぞれ専門とする教員のもとで、少人数・学生主体で調査研究を進めます。（DP2、DP3）

CP5: 「実践科目」では、社会で必要とされる実践的な知識と能力を身につけます。（DP2、

DP3、DP4)
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/examination/AdmissionPolicy.html)
（概要） ▼求める学生像 岩手県立大学盛岡短期大学部では、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)及びカリキュラム・ポリシー(教育課程編成の方針)に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。 ⑴ 岩手県立大学盛岡短期大学部の「建学の理念」と「大学の基本的方向」並びに志望学科・専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに共感する人 ⑵ 深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけようとする自律的な人 ⑶ 入学までの学修によって基礎的な知識・技能と、思考力・判断力・表現力を身につけている人 ⑷ 多様な人々と協働しながら知識・技能を活用して主体的に学び続ける意欲がある人 ⑸ 自己成長と社会貢献を目指す人 ▼入学者選抜の基本的な考え方 岩手県立大学盛岡短期大学部では、「求める学生像」に合致する学生を選抜するために、次の考え方に基づく入学者選抜を行います。 ⑴ 入学者選抜は、岩手県立大学盛岡短期大学部の建学の理念や各学科の教育目標、特色、専門分野等の特性に相応しい入学者を見出すという観点から行います。 ⑵ 学力検査のみに偏ることなく、入学志願者の個性や資質、意欲等多様な潜在能力にも配慮しながら、多様な選抜区分と選抜方法を採用します。 ⑶ 学力検査においては、暗記型の知識だけを問うのではなく、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、論理性などを見る試験を目指します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/staff.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	0 人	－					人
盛岡短期大学部	－	8 人	8 人	6 人	2 人	1 人	25 人
合計	0 人	8 人	8 人	6 人	2 人	1 人	25 人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
3 人	35 人	38 人

各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法：公表方法：大学 Web サイト （URL：http://souran.iwate-pu.ac.jp/search?m=home&l=ja)

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

年２回程度の全学的なセミナー及び学部ごとの研修会等の開催、他大学等が実施する研修会等への参加に関する支援、授業に関する学生アンケート調査を行っている。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
生活科学科	50 人	47 人	94%	100 人	106 人	106.0%		
国際文化学科	50 人	50 人	100%	100 人	106 人	106.0%		
合計	100 人	97 人	97%	200 人	212 人	106.0%		

（備考）

b.卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
生活科学科 生活デザイン専攻	27 人 (100%)	4 人 (14.8%)	21 人 (77.8%)	2 人 (7.4%)
生活科学科 食物栄養学専攻	24 人 (100%)	6 人 (25.0%)	17 人 (70.8%)	1 人 (4.2%)
国際文化学科	64 人 (100%)	23 人 (35.9%)	35 人 (54.7%)	6 人 (9.4%)
合計	115 人 (100%)	33 人 (28.7%)	73 人 (63.5%)	9 人 (7.8%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
大学 Web サイト（http://www.iwate-pu.ac.jp/career/syusyokusaki.html）に掲載。

（備考）
大学 Web サイトに掲載している卒業者数等の数値は次のとおりであり、本申請書とは一致しない。
・卒業者数及び就職者数は、令和６年３月卒業生の数で、秋卒業者は含まない。
・進学者数は、専門学校進学者を含む。
・その他の数には、就職未内定者及び専門学校進学者を含まない。

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
生活科学科	54 人 (100%)	50 人 (%)	3 人 (%)	1 人 (%)	人 (%)
国際文化学科	68 人 (100%)	63 人 (%)	2 人 (%)	3 人 (%)	人 (%)
合計	122 人 (100%)	113 人 (92.6%)	5 人 (4.1%)	4 人 (3.3%)	人 (%)

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
　シラバス作成要領を定めており、シラバス作成要領に基づき、開講される授業科目ごとに、授業担当教員がシラバスを作成している。シラバス作成要領とは、シラバスの構成、作成手順、作業内容及びスケジュール、シラバスの各項目の記載方法等を定めたものである。
　授業担当教員がシラバスを作成した後は、学部等教務委員会がシラバスの内容確認を行っている。シラバスは授業開講の前年度の１月から作成し、３月中旬頃に公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
　授業科目ごとのシラバスに下記事項を記載している。シラバスに、学修目標、成績評価の方法を明記しており、これに基づき各授業科目の単位授与を行っている。
①講義科目名称、②講義科目英文名称、③開講期間、④配当年、⑤単位数、⑥科目必選、⑦担当教員名称、⑧所属、⑨正課学生以外の受講、⑩教育課程、⑪授業形態、⑫資格対応、⑬授業のねらい・概要、⑭キーワード《5 つまで》、⑮学修目標、⑯授業の位置付け、⑰授業の計画、⑱教科書【学生が必ず準備するもの】、⑲参考書等、⑳授業の形式、㉑成績評価の方法、㉒授業前・授業後の学修、㉓履修にあたっての留意点、㉔実務経験を生かした授業内容、㉕備考

試験・単位認定・成績評価に関する Web ページアドレス
https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/test.html

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
盛岡短期大学部	生活科学科 生活デザイン専攻	68 単位	有・無	なし-
	生活科学科 食物栄養学専攻	65 単位	有・無	なし-
	国際文化学科	68 単位	有・無	なし-
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/questionnaire.html		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学 Web サイト
https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/facilities.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
盛岡短期大学部	生活科学科	390,000 円	（県内の住民）135,400 円 （その他の住民）203,000 円	2,120 円	※　その他に記載の金額は保険（２年間）に係る費用 ※　入学時には、後援会費(25,000 円)、学生会費（6,000 円）、同窓会費（15,000 円）の納入も必要
	国際文化学科			2,080 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） (1) 経済的支援 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀と認められる学生に対し、申請に基づき授業料の免除を実施するほか、納付方法の特例（分割・延納）も実施している。 また、本学独自の奨学金制度（岩手県立大学学業奨励金）を設け、学業成績が優秀な学生に対し無利子の奨学金を貸与している。卒業時に学業成績が特に優秀な場合や岩手県内に主たる事業所を置く企業等に所定年数勤務する等の条件を満たした場合は、申請に基づき返還を免除（全部又は一部）することがある。 (2) 特別支援による合理的配慮 学生サポートサロンに配置する学生支援コーディネーターを中心に、障がい・疾患等を抱える学生に対し修学や学内生活に関する相談対応を行う他、所属学部や教員等への配慮依頼及び環境調整等のサポートを行っている。 (3) 修学状況の保証人通知制度 学生への修学指導の充実を目的として、事務局と学部が連携し、履修未登録・欠席過多等の学生に対する「修学状況に係る保証人通知」制度を設けている。 また、年２回（入学年次生は１回）全学生の保証人に対し、直前期までの単位修得通知書を送付している。 (4) ソーシャルワーカーによる相談 経済不安等の生活課題を抱える学生を対象に、社会福祉士の資格を持つ学生支援コーディネーターが相談に応じる。また、学外ソーシャルワーカーの相談窓口も設置している。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） (1) 就職支援 全学の就職支援を行う「キャリアセンター」と学部特性に合わせて支援を行う「学部就職委員会」等が連携しながら、就職ガイダンス、企業説明会、公務員試験対策、個別相談等を実施している。 (2) キャリア形成支援 低学年次からのキャリア意識の醸成を目的として、業界研究セミナーや各種ガイダンス等の開催、インターンシップへの参加推奨等を行っている。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） (1) 健康管理（健康サポートセンター） 学生の心身にわたる健康管理を目的に、医師（内科・精神科）、保健師、看護師を配置している。 (2) 学生相談（学生サポートサロン） 公認心理師・臨床心理士の資格を有する専任カウンセラー、及び教員の相談員を配置して悩みや不安を抱える等の学生の相談に応じている。 (3) 障がい学生支援・生活に関する困りごと相談（学生サポートサロン） 障がいや疾患を抱える学生に対する合理的配慮の提供、及び修学や生活に関する困りごとを抱える学生の支援を目的に、学生支援コーディネーターを配置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。